

なかのSDGsパートナー連携事業【提案募集シート】

プロジェクト名	地域みんなで創る未来の学校
企業・団体名	学校法人 新渡戸文化学園
関連するSDGsゴール	4、12、17

現状・これまでの取組

学校がみんなの遊び場を合言葉にアートや工作、科学、音楽、運動、動物とのふれあなどを未就学児に無料体験できる『ギャザリングパーク（年3・4回開催）』、社会課題を中心に上映中の『にとバシネマ（年3・4回開催）』、子育てママパパにも楽しい学びを提供する『ママパパカレッジ（年2・3回開催）』、小学生高学年に未来の仕事を考えていただく『立志塾（年1・2回開催）』、フードを通してご家族や社会とのコミュニケーションを円滑にする『親子クッキング教室』や『料理体験イベント各種』（年3・4回開催）、教育界の様々な有識者を招いての教育情報発信対談『ハビネストーク（年3・4回開催）』、企業や大人と繋がる共創イベント『ハビネブリッジ（年1回開催）』、全国の先生方が集結して教育を考えるフェス『ティーチャーズハブ（年1回開催）』、学園の学びを閉じずに他学、企業、公官庁などにみてもらおう交流の場『視察受け入れ（年100回以上）』などなど、在校生、卒業生、保護者、教職員、地域、公官庁、企業様などと数々の連携をし、みんなで『未来の学校』を創っていく活動をしています。

解決したい課題内容

少子高齢化と多様性が進んでいる昨今、様々なニーズや課題が表面化してきています。これからの未来において、学校が果たす役割や果たせる役割は無限に広がっていると考えております。元々、学校は色々なリソースを有しているため、『古今東西、老若男女問わずみんなのプラットホーム』になり、『学び、遊び、出会い、思い出、安らぎ、癒し、安全』などの場になっていく未来になると思います。『学校がみんなのプラットホーム』になる為の未来に共感し、色々な社会課題解決と一緒に共創していただけるパートナーとその助力を期待しております。

具体例の一つとして、新渡戸独自で行ってきた『ギャザリングパーク』をなかのSDGsパートナー様の企業様やその繋がりの方々に共感をいただき、『中野区ギャザリングパーク』的な名目で、中野区内のあちこちでギャザリングパークが開催されるようになることが理想のため、その共創やアイデアなどいただけると幸いです。

提供できること・もの

場所・スペース的リソース、学校が基本機能として持っている機材や物的リソース、教職員が有している教育的なリソース。

プロジェクトを補足する画像・イラスト



連携先に求めていること・もの

当学園では『自分とみんなの幸せを創る人』・『自律型学習者』・『非認知能力』が育つことを願いとしておりますので、子ども達が興味を持ち、自ら考え、行動していける支援や情報を歓迎しております。

また、学校法人という立場上、費用に関するリソースは微々たるものになります。

その為、完全無償や低価格にての共創プロジェクト推進になる事をご承知おきください。

※もちろん寄付やボランティア、協賛なども大歓迎です。

最後に、学業が最優先の為、時期や内容によってお受けできない案件もございます旨、ご理解いただけると幸いです。

問い合わせ先

担当者氏名	経営企画室 広報室 鈴木・中ノ瀬
電話番号	03-3381-0197
メールアドレス	a_suzuki@nitobebunka.ac.jp
WEBサイトURL	https://nitobebunka.ac.jp/
募集期限	随時、受付中。